

ID 140333

災害に強い水道の実現へ 10/1から水道料金を改定

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、水道管の耐震化を進めるため、水道料金を改定します。改定の時期や負担増を抑える激変緩和措置など、詳しくお知らせします。

問合せ 水道部総務企画課
Tel674-7952
水道部給水収納課
Tel674-7906（水道料金のこと）

写真：大阪府北部地震で発生した
大阪広域水道企業団の
水道管破損による被害（下田部町）

料金の目安（1カ月当たり、税抜き）					
使用水量	改定前	10月～	来年 4月～	R10年 4月～	最終改定額 との差額
10㎡ 	850円	980円	1,080円	1,180円	+330円
15㎡ 	1,525円	1,680円	1,780円	1,880円	+355円
20㎡ 	2,200円	2,380円	2,480円	2,580円	+380円
25㎡ 	3,175円	3,405円	3,505円	3,605円	+430円

※使用水量に応じた世帯人数はイメージであり、使用実態によって変動します

どうして値上げが必要？

古い水道管を地震に強い耐震管へ

水道管は地中にはりめぐらされていて、地震などの災害が起きると、水道管が壊れて蛇口から水が出なくなることがあります。令和6年1月の能登半島地震では、広範囲・長期間にわたる断水被害が発生しました。また、地震以外でも老朽化した水道管が破損する事故が全国的に増加しています。市ではその対策として、古い水道管を地震に強い「耐震管」に取り替える工事を進めていて、多くの資金が必要です。

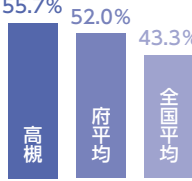
災害時に影響が大きい管を優先

大規模災害が発生しても断水しないように、耐震化を計画的に進める必要があります。中でも、下記の基幹管路や重要給水施設管路は、断水した場合に被害の規模が大きいため、これらの耐震化を優先して行っています。

基幹管路

水道の主要な供給ルートを担当する管路。被害を受けると断水の影響が広範囲になってしまう

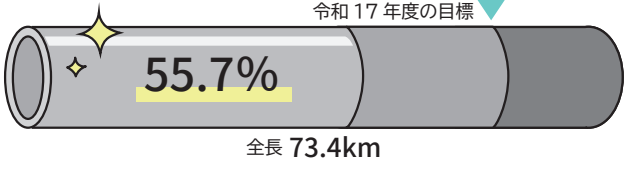
耐震適合率の比較
(令和5年度実績)



府・全国平均より
進んでいます

耐震適合率（令和5年度）

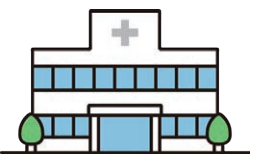
80%



重要給水施設管路

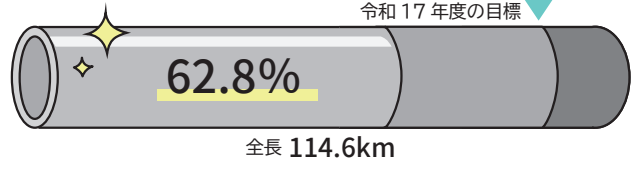
避難所や拠点病院※、救護所などに至る管路。避難生活や救命活動に大きな影響を与える

※災害時に医療活動を担う施設として位置付けられている病院



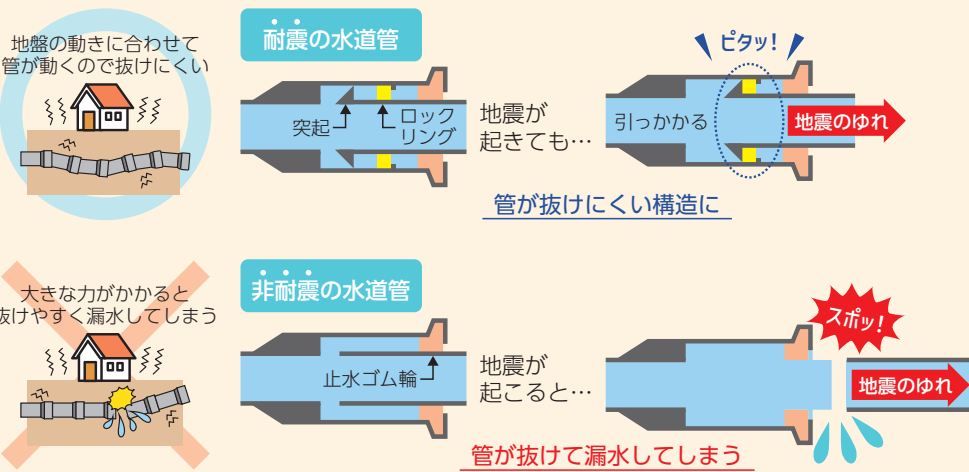
耐震適合率（令和5年度）

90%



耐震管の仕組み

水道管はいくつもの管を継ぎ手でつないでいます。地震による断水の多くは、この継ぎ手で管と管が外れて漏水することで発生します。耐震管は、強い揺れが発生しても継ぎ目が外れないように、継ぎ手部分に余裕を持たせて伸縮できる構造になっています。

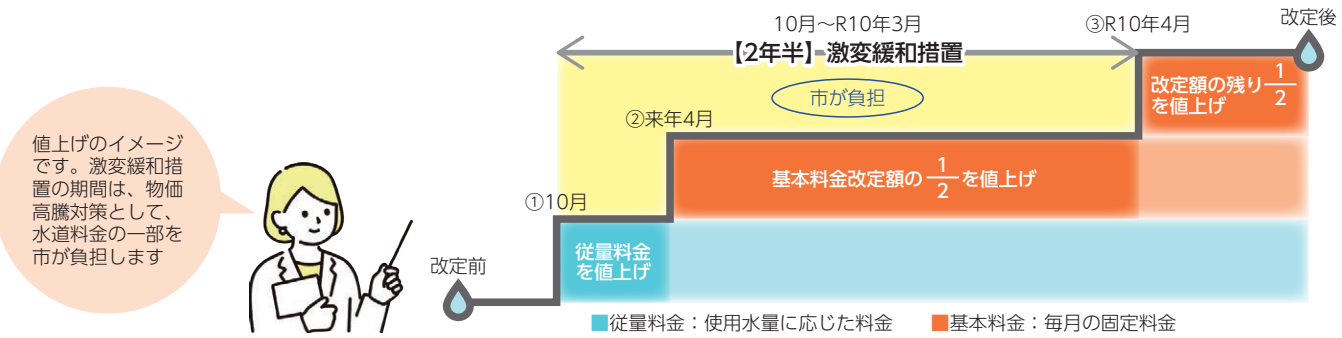


料金改定の **内容** が知りたい

支払いに影響が出るタイミングや、今後の値上げ幅についてご説明します。

令和10年3月まで緩和措置を実施

今年の10月から令和10年3月までの2年半の間、市は、値上げが段階的になるよう激変緩和措置を実施します。今年の10月からは従量料金を値上げし、その後2回に分けて基本料金を2分の1ずつ値上げします。



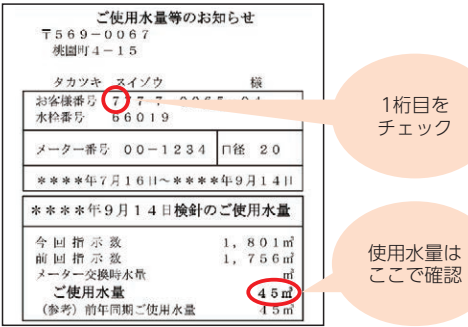
一般家庭料金表（メーター口径13・20・25mm）									
期間	基本料金	従量料金							
		1～6㎡	7～10㎡	11～20㎡	21～30㎡	31～50㎡	51～300㎡	301～1,000㎡	1,001㎡～
改定前	690円	10円	25円	135円	195円	215円	270円	320円	340円
①10月～	690円								
②来年4月～	790円	25円	35円	140円	205円	225円	280円	330円	350円
③R10年4月～	890円								

※1カ月当たり、税抜き。メーター口径30mm以上は市ホームページ（ID 005111）をご確認ください

「ご使用水量等のお知らせ」の確認を

新料金の支払い時期は、「ご使用水量等のお知らせ」で確認できます。お客様番号の1桁目が偶数なら10月検針・11月支払い、奇数なら11月検針・12月支払いから影響が出ます。

また、使用水量も記載されています。値上げがどのように影響するか、参考にしてください。



新料金の適用時期

新料金単価の適用は、今年の10/1以降の使用水量から。10/1をまたぐ期間については、使用日数に応じて新旧料金を日割りで計算します（下図）。



もっと知りたい **水道経営** のこと

水道事業の経営状況や企業努力などについて、ご紹介します。

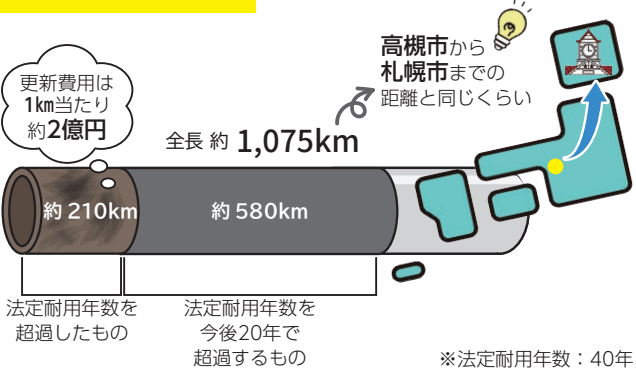
1,075km

市内の
水道管の長さ

市内の**水道管の全長は約1,075km**。これは高槻市から北海道札幌市までの距離に相当します。そのうち、法定耐用年数*を超過したものは約210km。今後20年で約580kmが法定耐用年数を超過する見込みです。

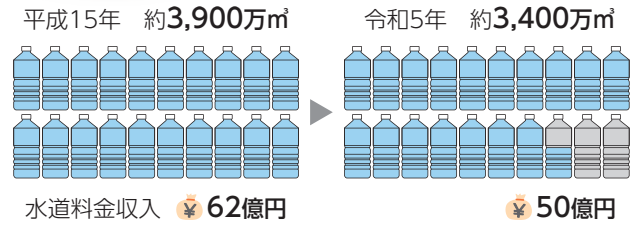
水道管の更新費用は**1km当たり約2億円**かかり、経費削減などの経営改善だけでは必要な費用を賄うことができない状況です。

高槻市の水道管の長さ



500万㎡

使用水量の減少量
(20年前との比較)



人口減少やライフスタイルの変化により、水の使用量が年々減っています。**20年前の年間使用水量と比較すると、約500万㎡（2リットルのペットボトル25億本分）**減少しています。

水の使用量の減少に合わせて、水道料金収入も平成15年の62億円から令和5年には50億円と、12億円減少しています。

132億円

水道料金を改定しない
場合の不足額

今回の料金改定額は、今後約10年間に行う耐震化工事などの費用を確保できるように決定しています。

水道料金を改定しない場合、**令和17年度には資金が約132億円足りなくなる見通し**です。

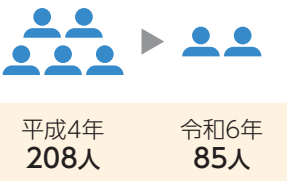


見直し 経費削減にも努力

検針・開閉栓業務や運転監視業務の民間委託、システム導入など業務効率化による職員数の削減や、受水場や配水施設の統廃合、水道管のダウンサイジングなど、経費削減に努めています。

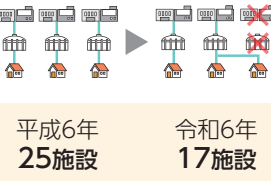
約30年間で
半数以下に削減

職員数の削減



過剰な施設保有と
ならないように

受水場や配水施設の統廃合



今後の使用水量の
減少を考えながら

水道管のダウンサイジング

